

禅会だより

小川忠太郎範士 『剣道講話』 輪読会について

三松 無妙

(人間禅埼京支部)

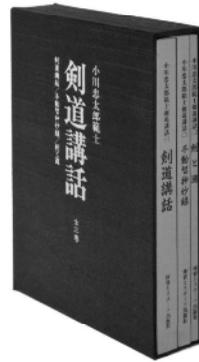
人間禅附属宏道会では、2010年5月に「禅フロンティア」がスタートしたのと併せまして、その前日の金曜日夜「小川忠太郎範士『剣道講話』輪読会」(通称剣プレ)を擇木道場にて開催しております。

著者である小川忠太郎先生(剣道範士九段：無得庵小川刀耕老居士)については、会員の皆様もご高承のことと存じますが、剣道の修行は、小野派一刀流第十六代笹森順造先生より免許皆伝を得ておられ、無刀流は第五世石田和外先生に学ばれ、直心影流法定の形は加藤完治先生に師事されています。また、坐禅の修行は、両忘庵釈宗活老師に入門され、「刀耕」の道号を授与されています。両忘庵老師が引退された後は、その法を嗣がれた耕雲庵立田英山老師について修行を継続され、「無得庵」の庵号を授与されています。人間禅においては総務長・本部道場長等の大役を歴任されています。小川先生は正しく剣禅一味の体得者であられます。

小川先生は1992年に帰寂されましたが、現在でも小川先生に薫陶を受けた剣道家の方々はたくさんおられます。この輪読会はその剣道家の方々を対象にスタートし、小川先生の「剣禅一如の境涯」を体得することを目的として掲げております。従いまして、「参禅弁道により道眼を開く」禅の修行を、参加者の方々にも実践していただけるよう、参禅の場を輪読会終了後に用意しております。

輪読しております『剣道講話』は、(株)体育とスポーツ出版社から発

行されている月刊誌『剣道時代』に、1987年から1990年まで連載されたものが一冊に収録された書籍であります。内容は、小川先生が制定に参画された剣道の理念【剣道は、剣の理法の修練による人間形成の道である】を中心に、「剣の理法」、「理の修行」、「事の修行」、「事理一致の修行」、「事理相忘の修行」等、剣道の修行のあり方を話されています。合わせて「十牛の図」「五蘊皆空」等、坐禅に関わる話も随所に出てまいりますので、剣道が未経験の方でも十分に参考になると思われます。



『剣道講話』（『剣道時代』より。
写真提供：体育とスポーツ出版社）

輪読会の講師は葆光庵春潭総裁老師と千鈞庵霞山老居士が務められ、小川先生の話しの内容を適宜分かりやすく解説していただいております。また、読み手は栗山令道居士が担当されております。これまでに回を重ねること11回（2011年3月時点）となりましたが、参加者は小川先生にご縁のあった剣道家、人間禅会員、宏道会会員等、平均すると30人程度であります。何よりも喜ばしいことは、この『『剣道講話』輪読会』において、張替裕氏、石ヶ森英俊氏、小川昭氏が相次いで本格の坐禅の修行を始められたことです。そして、3名の方々は見事に見性され、剣外、活人、心耕の道号を各々授与されました。

人間禅附属宏道会は1956年（昭和31年）に、妙峰庵佐瀬孤唱老師によって創立されました。そして、「宏道会の子供達に本当の剣道を教えてやって欲しい」という、耕雲庵立田英山老大師のご希望により、小川先生は最高師範に就任されました。小川先生のご指導は、古流の形・切返し・掛り稽古といった基本が中心でありました。そして形の応用として地稽古をご指導されました。

私は宏道会に1966年小学4年生の時に入会し、1972年から小川先生に小野派一刀流のご指導をいただき、1978年からは法定の形のご指導をいただきました。さらに、1980年からは防具稽古のご指導をいただきました。当時の私は、20歳代前半で体力的にも疲れを知らない若者。小川先生は80歳頃と大変なご高齢であられました。しかしながら、小川先生は防具稽古になると、体は鋼のようになり、足は床に張り付いた様な感じで、私が体ごとぶつかっても、弾き飛ばされてしまうような稽古でありました。私は会社の仕事で米国に駐在となりましたので、1988年6月に小川先生から最後の防具稽古のご指導をいただきました。とにかく今振り返ってみれば、小川先生の汗を浴びながら、稽古のご指導をいただいたことは、大変贅沢な経験であったと受け止めています。特に小川先生から防具稽古のご指導をいただいた時期は、先生が71歳から87歳までの間であります。自分も54歳となりいつまでも若くはないと感じていますが、小川先生が命懸けで道場に立たれていたお姿を思い起こすと、これからが本格的な修行であると勇気をいただいております。

今後「『剣道講話』輪読会」は、原則として毎月最終金曜日の夜（4月、9月、12月を除く）にプレ禅フロンティアとして開催予定であります。なお、翌日の土曜日午前中には「『わび茶の研究』輪読会」、午後から日曜日の朝までは「禅フロンティア」が開催されます。ご関心のある方は、擇木道場に足を運んでいただきますようお願いいたします。

合掌

著者プロフィール



三松無妙

昭和31年、愛知県生まれ。千葉大学人文学部卒業。現在、エレクトロニクス商社社長。昭和41年、人間禅附属宏道会入会、副会長、妙位(教師)、平成18年、人間禅丸川春潭老師に入門。現在、人間禅輔教師。